

道母連だより

子ども応援社会の実現に向けて



北海道知事

鈴木直道

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様には、日頃から、ひとり親家庭の福祉の向上や自立促進のために御尽力いただき、心から感謝申し上げます。

この度、4月の知事選挙において、道民の皆様のご支持をいただき、引き続き、知事として、道政を担わせていただくこととなりました。

私自身、持てる力を最大限尽くし、道民の皆様の命と健康、暮らしを守り抜き、そして北海道の確かな未来を創ってまいります。

物価高騰の影響の長期化など、道民の皆様の生活や事業者の方々

の経営環境が厳しい状況にある中、何より、暮らしの安心の確保を最優先に、価格高騰等経済対策を着実に実行していくとともに、優しくあたたかい社会づくりに取り組んでまいります。

二期目の公約に掲げました社会全体で子育てを支える「子ども応援社会」の実現に向けては、北海道の子ども施策の司令塔となる「子ども応援社会推進監」を新たに設置し、子ども施策を一元的に推進する体制を整えたところです。

これまでの乳幼児医療費助成や保育料の無償化に加え、保険適用外となる不妊治療医療費や、受診

第99号

発行日/令和5(2023)年9月1日
発行/社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-0031
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 機アイワード

にかかる交通費などについても北海道独自に支援していきます。

また、道営住宅の優先入居、さらには、道立施設全てで妊娠中や子ども連れの方を優先する窓口の設置に加え、優先駐車場や授乳室、おむつ交換場所の確保などに取り組む「子どもファストトラック」を推進し、子ども応援社会に向けた社会的な機運醸成を図り、オール北海道での取組につなげてまいります。

今後とも、道の関連政策を総動員し、国の制度を効果的に活用するとともに、市町村の施策と連携を図りながら、子育てに関わる負担の軽減に取り組んでまいります。

私としては、北海道にとって何が最善かという視点に立ち、直面する様々な課題と向き合いながら、引き続き、全身全霊で取り組んでいく決意でありますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今後ともよろしくお願いいたします



2期目の抱負を伺いました



畑理事長よりお祝いの花束を